



学校テーマ 『笑顔があふれ、地域に愛される法勝寺中学校』

法勝寺中学校だより

No.4 R8.9.10 発行(文責：角田)

地域の中で見守られ育つ

2学期が始まり、3週間が経ちました。この間、地域の方々から学校に寄せられた温かい言葉を、いくつか紹介します。

「生徒たちがいつも元気に挨拶してくれるので、こちらも元気をもらっています。」

「学校の除草作業が気になっていたので、手伝いに来ました。」

「城山橋の河川敷から伸びている笹が大きくなって、視界が悪くなっています。中学生の登下校時に危険なので、役場の方に伝えられた方がよいですよ。」

「グラウンド奥の用水路で、今年度も幼稚園の園児と一緒にザリガニ取りを行いたいです。法勝寺中学校周辺の生態系はとても貴重なので、生徒の皆さんにも知ってもらいたいです。」

このように、地域の皆様には、生徒のことを考えて声をかけていただいたり、実際に学校のために力を貸していただいたりしています。地域の方々から声を聞かせていただくたびに、法中生たちは何て幸せな環境で生活しているのだろうと感じます。

時には、お叱りの言葉をいただくこともあります。しかし、その言葉の根底には、「生徒たちが危険な目に遭わないように」という思いや、「よりよい中学生になってほしい」という願いがあることを感じています。地域の皆様が、日頃から生徒たちを温かく見守ってくださっていることを改めて実感します。

1学期の終わりには、キナルなんぶの利用状況について「あまりよくない」という連絡をいただきました。そこで、早速、キナルなんぶを訪問し、職員の方から現在の状況をお聞きしました。

その後、1学期の終わりに、生徒会執行部のメンバーが全校生徒に向けて、キナルなんぶをはじめとする公共施設の利用の仕方について説明してくれました。そして、2学期が始まる前に、改めてキナルなんぶの職員の方に夏休み中の様子を伺いました。

すると、「以前に比べて、かなり改善されました」との言葉をいただきました。

生徒の皆さんが1学期末の話をしっかりと受け止め、自分たちの行動を改善しようと努力してくれたことが分かり、とても嬉しく思いました。

今年の学校テーマは、「笑顔があふれ、地域に愛される法勝寺中学校」です。

皆さんの周りには、皆さんのことを気かけ、温かく見守ってくださっているたくさんの方々があります。それは、当たり前のことではありません。地域の方々の温かい思いや支えがあって、今の皆さんの学校生活が成り立っています。

ぜひ皆さんも、地域の一員であることを意識し、感謝の気持ちを持って生活してほしいと思います。そして、地域の方々から「法勝寺中学校の生徒たちは素敵だな」と思ってもらえるような行動を、一人一人が積み重ねていきましょう。

地域の皆様に支えていただいている学校だからこそ、私たちも地域に貢献できる学校となるようみんなで「笑顔があふれ、地域に愛される法勝寺中学校」をつくっていきましょう。

南部町と京都

9月2日から2泊3日の日程で3年生が京都・大阪方面へ修学旅行に行ってきました。今回の修学旅行はまち未来科の学習の一環も兼ねており、南部町の未来を「自然・歴史・国際・建築・特産物・くらし」の6つの側面から考える時間にもなりました。

1学期中に南部町の上記の6つの側面について、町内の有識者の方から話を聞きました。その話を受けて、生徒一人ひとりが南部町の将来に活かせることはないかという視点で京都の様子を見てきました。そこで得た知見を基に、南部町でこういった取り組みならば実現可能なのかを考えていきます。

それぞれがまとめた内容について11月頃に発表する機会を設けます。どうぞ、その際は中学校にお越しいただき、生徒たちの発表をお聴き頂ければと思います。

「全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会」銀賞受賞

8月10日に行われました、全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会に本校吹奏楽部が出場しました。昨年までは小編成での出場でしたが、今年度は部員数も増えたため、大編成の部での出場となりました。

ここまで、新しく入った1年生も含めて良い演奏を披露しようと、毎日の練習に励んでいました。当日は全員で気持ちを込めて丁寧に演奏を行うことが出来ました。結果、銀賞を受賞することが出来ました。

Ekiden 部始動!!

8月27日に駅伝部の部結成を行い、本格的に駅伝部が始動しました。夏休み中は個人でのトレーニングをして力をつけ、2学期に入り全員での練習を行っています。初日の練習からビルドアップ(少しずつペースを上げていく練習方法)を行い、駅伝のシーズンが到来したことを感じました。

まず目標とするのは、シルバーウィークに大山町の名和陸上競技場周辺で開催される「西伯郡駅伝競走大会」です。この大会はいくつチームを出しても大丈夫な大会のため、この日まで練習してきた生徒は全員が走ることが出来ます。夏休み明けから約1カ月走ってきた走力を発揮してくれることと期待しています。

